虹の松原だより

第36号

発行日：2014年2月3日
発行者：NPO法人KANNE

松原の南周辺松林で雑木伐採が始まりました!

　みなさん、近くで見る松林の印象が少し良くなったところに気付かれていますか？
　佐賀県では松原に侵入してきている広葉樹を除去する事業を県道南側一帯(内陸ゾーン)で平成21年度から続けられ、だいぶ松林の中が明るく遠くまで見通せる状態になってきています。
　今年度は、この事業に加えて、以前から問題になっていた縁辺ゾーン(松原の南周辺松林)に繁茂している樹木構成としては不要な下層広葉樹の伐採が試験的に始まりました。今年の1月に整林された場所は、松原西端の市営駐車場東側の道路沿いの150m前後ですが、伐採と同時に下草が刈られマツに絡まっていたツタなどを取り除いたことで松原の中までスッキリした印象になっています。
　事業の狙いとしては、今後、縁辺ゾーンの整林をどのように進めていくかを検討するために、広く住民のみなさんに伐採後の松林を見ていただくためとのことでした。
　虹の松原再生・保全は自治体、企業、CSOなどの協働で着実に進んでいます。みなさんのご意見をお待ちしています。

私たちは虹の松原再生・保全活動に取り組んでいます

宮島醤油株式会社

　宮島醤油は2011年3月から虹の松原再生・保全活動を始めました。年に2回のペースで、今までに6回の活動を行ってきました。唐津地区の従業員とその家族約100名が参加し、休日に朝に松葉かきで気持ちの良い汗をかいています。また、今年(2014年)からは、佐賀県産の原材料を使用した商品の売り上げの一部を佐賀県のふるさと納税を通して、虹の松原再生・保全活動にお役立て頂く取り組みを始めます。

今月のクイズ…

『松毬より年嵩』の意味はなんでしょう。

(答えは裏を見てね!!)

虹松まもる君日記!!

～かんねまつりに行ってきた!! ～

イベント情報

■ 再生する海岸林■

〇開催日時：2月11日（火・祝）13:30～17:00
〇場所：福岡ビル9階大ホール
〇対象：身近な環境保全、ボランティア活動に関心のある方(定員100名)
〇参加費：無料(おやつカンパ制)
〇主催：特定非営利活動法人グリーンシティ福岡
〇共催：特定非営利活動法人日本環境保全ボランティアネットワーク
〇後援：福岡森林管理署・福岡県・福岡市

話題提供：①奈多植林会とNPO法人循環生活研究所が行う「松葉の堆肥化」 ②NPO法人トチギ環境未来基地が行う「被災海岸林の再生と復興支援」 ③唐津市KANNEが先行し新宮町でも始まった「アダプト制度による保全活動」 ④糸島市ではじまった対話の場である「海岸林協議会」

松原に関する好事例の共有やアダプトなど協働型松原保全の普及を目標とし、将来的には、玄界灘沿岸の海岸林について対話ができる場を作ることを目標とし、開催されます。

その他、おやつセッションやテーマ別のワークショップが行われます。

託児はないですが、松ぼっくりで遊んだり、お絵かきの場があり、お子様も一緒に参加できるイベントになっています。

虹の松原の写真館

虹の松原の良い所を沢山の方と共有しませんか？皆様の「虹の松原の中のお気に入りの場所」や「他の方にも紹介したい場所」など、とっておきの場所を紹介するコーナーです。

とっておきの場所の「写真」と「紹介文」を下記まで、メールまたは郵送で送ってください。ご協力をお願いいたします。

「新しくなってた!!」(紹介者：りんごさん)
道路沿いの柵が新しくなっていました!!古くなっていて気になっていましたが、よかったです。松原を守るために色々な方が関わってあるんだと思いました。

教えて、川浪先生！【連載20】

今回はクロマツ（マツ科）についてのお話です。

日本人は古来マツに対する思い入れが深く、あらゆる年中行事やしきたりの中で、広く利用されていきた樹木である。マツ、タケ、ウメなどで飾られる正月の門松もメインはマツでありマツは祀(まつ)に通じ、年神の依代となる神聖な木とされ、青々とした常緑樹の永遠性、雄々しい姿形などが、今日まで人々を崇めさせる所似である。また、マツはめでたさの象徴として歌に詠まれ、絵にも描かれてきた。日本の三景の天の橋立、松島はその景色にマツが重要な役割を占めているし、庭木や盆栽作りにもマツを愛する日本人の心が見られる。

普通マツと呼ばれるものは、クロマツ(雄松)とアカマツ(雌松)があり、クロマツは海岸近くに、アカマツは内陸よりに自生する。虹の松原はクロマツが主で、防風、防砂林としての機能を果たすとともに、白砂青松としての景観美を呈している。ここも昔から人々がマツを育て、マツが人々の生活を支えてきた、人とマツとの関わりの原点がある。

一定区画を受け持って 再生・保全活動をしてみませんか!?

再生・保全活動とは、白砂青松の美しい虹の松原に育て守って行こうという活動です。具体的には、松の落ち葉をかき集めること（松葉かき）や除草作業です。

・どなたでも活動に参加できます！
・好きな時、好きな時間に活動ができます
・道具等も準備します！
・ボランティア証明書も発行できます！
・ボランティア保険にも加入します！
（費用は当会が負担します）

再生・保全活動登録者の動き！

【団体】 157団体(±0団体)
【個人】 48 人（+1人）
【人数】 5865人（＋1人）　平成26年1月31日現在

1月の再生・保全活動の状況！

【団体】 のべ 4 団体
【個人】 のべ 30 人
【人数】 のべ 194 人
※当会が把握している情報により

☆今月のクイズの答え☆
『年長の者は経験が豊富で判断が的確たということ』

NPO法人唐津環境防災推進機構KANNE（かんね）
〒847-0013 佐賀県唐津市南城内2-6
TEL 0955-80-7060 FAX 0955-80-7061 E-mail nijimatsu-kanne@psc.bbiq.jp
http://www.karatsucity.com/~kanne/pine_field/